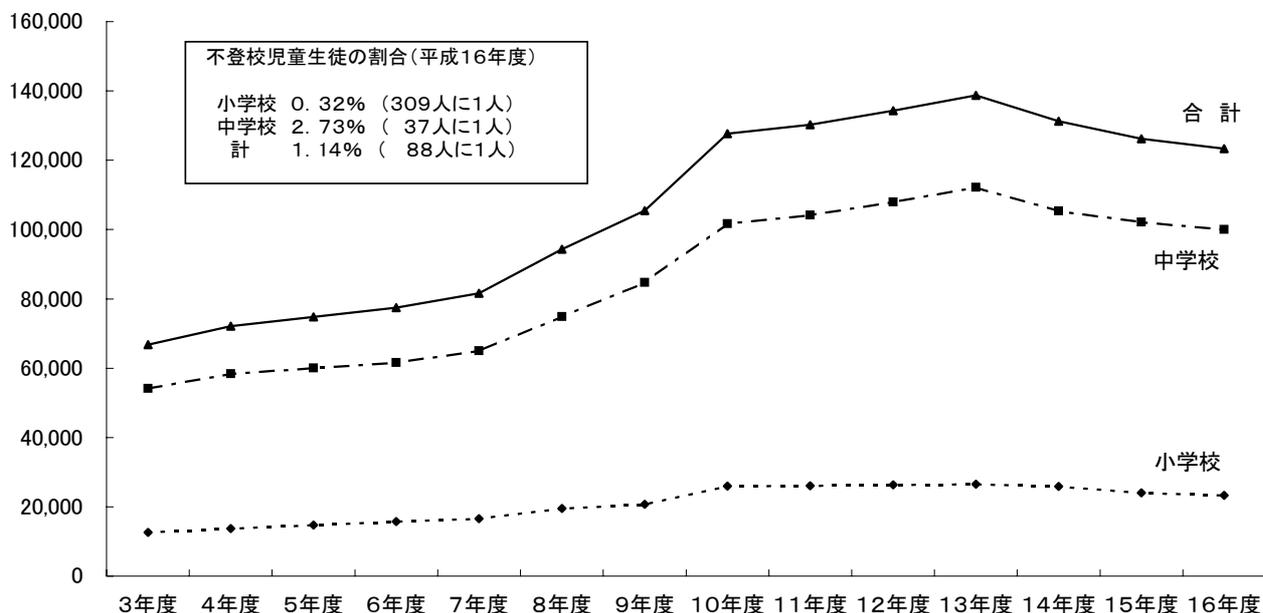


1 不登校児童生徒数（30日以上欠席者）

区分	小学校			中学校			計		
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校児童数 (人) カッコ内 (B/A×100) (%)	不登校児童数の増▲減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校生徒数 (人) カッコ内 (B/A×100) (%)	不登校児童数の増▲減率 (%)	(A) 全児童生徒数 (人)	(B) 不登校児童生徒数の合計 (人) カッコ内 (B/A×100) (%)	不登校児童生徒数の増▲減率 (%)
3年度	9,157,429	12,645 (0.14)	-	5,188,314	54,172 (1.04)	-	14,345,743	66,817 (0.47)	-
4年度	8,947,226	13,710 (0.15)	8.4	5,036,840	58,421 (1.16)	7.8	13,984,066	72,131 (0.52)	8.0
5年度	8,768,881	14,769 (0.17)	7.7	4,850,137	60,039 (1.24)	2.8	13,619,018	74,808 (0.55)	3.7
6年度	8,582,871	15,786 (0.18)	6.9	4,681,166	61,663 (1.32)	2.7	13,264,037	77,449 (0.58)	3.5
7年度	8,370,246	16,569 (0.20)	5.0	4,570,390	65,022 (1.42)	5.4	12,940,636	81,591 (0.63)	5.3
8年度	8,105,629	19,498 (0.24)	17.7	4,527,400	74,853 (1.65)	15.1	12,633,029	94,351 (0.75)	15.6
9年度	7,855,387	20,765 (0.26)	6.5	4,481,480	84,701 (1.89)	13.2	12,336,867	105,466 (0.85)	11.8
10年度	7,663,533	26,017 (0.34)	25.3	4,380,604	101,675 (2.32)	20.0	12,044,137	127,692 (1.06)	21.1
11年度	7,500,317	26,047 (0.35)	0.1	4,243,762	104,180 (2.45)	2.5	11,744,079	130,227 (1.11)	2.0
12年度	7,366,079	26,373 (0.36)	1.3	4,103,717	107,913 (2.63)	3.6	11,469,796	134,286 (1.17)	3.1
13年度	7,296,920	26,511 (0.36)	0.5	3,991,911	112,211 (2.81)	4.0	11,288,831	138,722 (1.23)	3.3
14年度	7,239,327	25,869 (0.36)	-2.4	3,862,849	105,383 (2.73)	-6.1	11,102,176	131,252 (1.18)	-5.4
15年度	7,226,910	24,077 (0.33)	-6.9	3,748,319	102,149 (2.73)	-3.1	10,975,229	126,226 (1.15)	-3.8
16年度	7,200,933	23,318 (0.32)	-3.2	3,663,513	100,040 (2.73)	-2.1	10,864,446	123,358 (1.14)	-2.3

(注)調査対象:国・公・私立小・中学校

不登校児童生徒数の推移



2 不登校児童生徒の在籍学校数

区分	学校総数 (A) (校)	30日以上欠席者		
		不登校児童生徒在籍 学校数(B) (校)	比率 (%) (B/A × 100)	
小学校	国立	73	32	43.8
	公立	23,160	9,857	42.6
	私立	187	55	29.4
	計	23,420	9,944	42.5
中学校	国立	76	59	77.6
	公立	10,317	8,866	85.9
	私立	709	449	63.3
	計	11,102	9,374	84.4
計	国立	149	91	61.1
	公立	33,477	18,723	55.9
	私立	896	504	56.3
	計	34,522	19,318	56.0

(注)調査対象:国公立小・中学校

3 学年別不登校児童生徒数

小学校 (人)

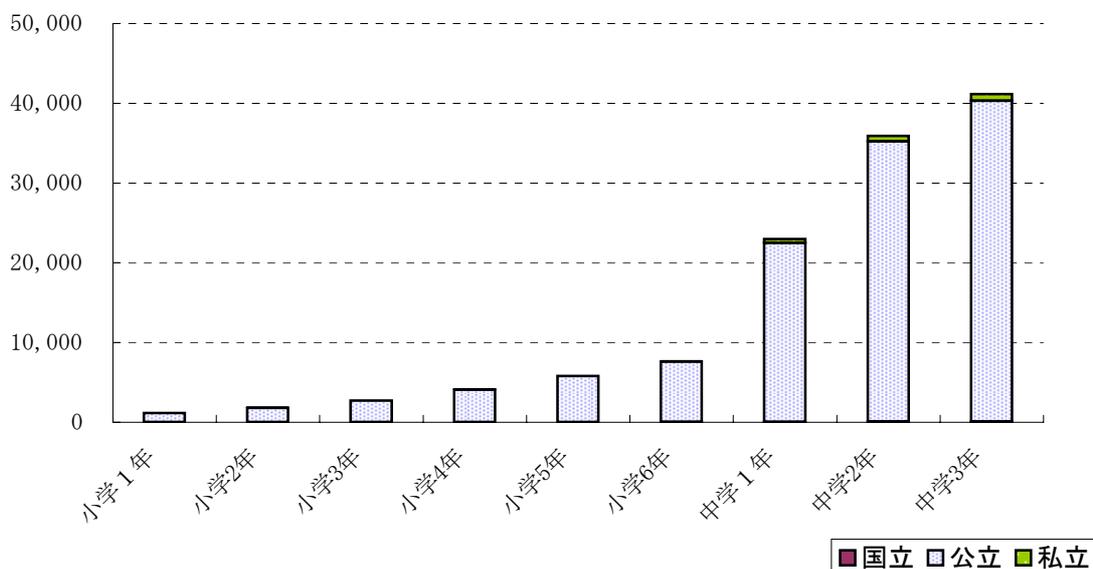
区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
国立	0	7	9	5	16	25	62
公立	1,175	1,811	2,721	4,090	5,791	7,601	23,189
私立	2	4	8	13	14	26	67
計	1,177	1,822	2,738	4,108	5,821	7,652	23,318

中学校 (人)

区分	1年	2年	3年	計
国立	44	96	98	238
公立	22,447	35,151	40,200	97,798
私立	483	678	843	2,004
計	22,974	35,925	41,141	100,040

(注)調査対象:国公立小・中学校

平成16年度の学年別不登校児童生徒数



4 不登校状態となった直接のきっかけ

区分	小学校				中学校				計				
	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	
学校生活に起因	友人関係をめぐる問題	17人 27.4%	2,882人 12.4%	10人 14.9%	2,909人 12.5%	61人 25.6%	22,088人 22.6%	449人 22.4%	22,598人 22.6%	78人 26.0%	24,970人 20.6%	459人 22.2%	25,507人 20.7%
	教師との関係をめぐる問題	1人 1.6%	509人 2.2%	3人 4.5%	513人 2.2%	4人 1.7%	1,260人 1.3%	24人 1.2%	1,288人 1.3%	5人 1.7%	1,769人 1.5%	27人 1.3%	1,801人 1.5%
	学業の不振	1人 1.6%	757人 3.3%	3人 4.5%	761人 3.3%	23人 9.7%	7,953人 8.1%	180人 9.0%	8,156人 8.2%	24人 8.0%	8,710人 7.2%	183人 8.8%	8,917人 7.2%
	クラブ活動、部活動等への不適応	0人 0.0%	52人 0.2%	0人 0.0%	52人 0.2%	4人 1.7%	1,545人 1.6%	41人 2.0%	1,590人 1.6%	4人 1.3%	1,597人 1.3%	41人 2.0%	1,642人 1.3%
	学校のきまり等をめぐる問題	1人 1.6%	103人 0.4%	0人 0.0%	104人 0.4%	3人 1.3%	2,832人 2.9%	25人 1.2%	2,860人 2.9%	4人 1.3%	2,935人 2.4%	25人 1.2%	2,964人 2.4%
	入学、転編入学、進級時の不適応	2人 3.2%	645人 2.8%	2人 3.0%	649人 2.8%	12人 5.0%	3,119人 3.2%	108人 5.4%	3,239人 3.2%	14人 4.7%	3,764人 3.1%	110人 5.3%	3,888人 3.2%
	小計	22人 35.5%	4,948人 21.3%	18人 26.9%	4,988人 21.4%	107人 45.0%	38,797人 39.7%	827人 41.3%	39,731人 39.7%	129人 43.0%	43,745人 36.2%	845人 40.8%	44,719人 36.3%
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	2人 3.2%	1,851人 8.0%	5人 7.5%	1,858人 8.0%	12人 5.0%	4,793人 4.9%	53人 2.6%	4,858人 4.9%	14人 4.7%	6,644人 5.5%	58人 2.8%	6,716人 5.4%
	親子関係をめぐる問題	7人 11.3%	3,609人 15.6%	8人 11.9%	3,624人 15.5%	25人 10.5%	7,667人 7.8%	193人 9.6%	7,885人 7.9%	32人 10.7%	11,276人 9.3%	201人 9.7%	11,509人 9.3%
	家庭内の不和	1人 1.6%	912人 3.9%	4人 6.0%	917人 3.9%	4人 1.7%	3,524人 3.6%	68人 3.4%	3,596人 3.6%	5人 1.7%	4,436人 3.7%	72人 3.5%	4,513人 3.7%
	小計	10人 16.1%	6,372人 27.5%	17人 25.4%	6,399人 27.4%	41人 17.2%	15,984人 16.3%	314人 15.7%	16,339人 16.3%	51人 17.0%	22,356人 18.5%	331人 16.0%	22,738人 18.4%
本人の問題に起因	病気による欠席	4人 6.5%	1,800人 7.8%	5人 7.5%	1,809人 7.8%	16人 6.7%	6,082人 6.2%	143人 7.1%	6,241人 6.2%	20人 6.7%	7,882人 6.5%	148人 7.1%	8,050人 6.5%
	その他本人に関わる問題	16人 25.8%	6,433人 27.7%	11人 16.4%	6,460人 27.7%	56人 23.5%	28,738人 29.4%	473人 23.6%	29,267人 29.3%	72人 24.0%	35,171人 29.1%	484人 23.4%	35,727人 29.0%
	小計	20人 32.3%	8,233人 35.5%	16人 23.9%	8,269人 35.5%	72人 30.3%	34,820人 35.6%	616人 30.7%	35,508人 35.5%	92人 30.7%	43,053人 35.6%	632人 30.5%	43,777人 35.5%
その他	1人 1.6%	2,069人 8.9%	7人 10.4%	2,077人 8.9%	3人 1.3%	3,298人 3.4%	89人 4.4%	3,390人 3.4%	4人 1.3%	5,367人 4.4%	96人 4.6%	5,467人 4.4%	
不明	9人 14.5%	1,567人 6.8%	9人 13.4%	1,585人 6.8%	15人 6.3%	4,899人 5.0%	158人 7.9%	5,072人 5.1%	24人 8.0%	6,466人 5.3%	167人 8.1%	6,657人 5.4%	
計 比率(%)	62人 100.0%	23,189人 100.0%	67人 100.0%	23,318人 100.0%	238人 100.0%	97,798人 100.0%	2,004人 100.0%	100,040人 100.0%	300人 100.0%	120,987人 100.0%	2,071人 100.0%	123,358人 100.0%	

(注1) 調査対象：国公立小・中学校

(注2) 不登校児童生徒1人につき、主たるきっかけを1つ選択

5-1 不登校状態が継続している理由

理由		具体例		小学校	中学校	計
A	学校生活上の影響	いやがらせをする生徒の存在や、教師との人間関係等、明らかにそれと理解できる学校生活上の影響から登校しない(できない)。	国立	7人 11.3%	21人 8.8%	28人 9.3%
			公立	1,198人 5.2%	7,194人 7.4%	8,392人 6.9%
			私立	6人 9.0%	193人 9.6%	199人 9.6%
			計	1,211人 5.2%	7,408人 7.4%	8,619人 7.0%
B	あそび・非行	遊ぶためや非行グループに入ったりして登校しない。	国立	0人 0.0%	5人 2.1%	5人 1.7%
			公立	198人 0.9%	10,312人 10.5%	10,510人 8.7%
			私立	0人 0.0%	28人 1.4%	28人 1.4%
			計	198人 0.8%	10,345人 10.3%	10,543人 8.5%
C	無気力	無気力でなんとなく登校しない。登校しないことへの罪悪感が少なく、迎えにいったり強く催促すると登校するが長続きしない。	国立	6人 9.7%	34人 14.3%	40人 13.3%
			公立	4,428人 19.1%	21,842人 22.3%	26,270人 21.7%
			私立	1人 1.5%	242人 12.1%	243人 11.7%
			計	4,435人 19.0%	22,118人 22.1%	26,553人 21.5%
D	不安など情緒的混乱	登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しない等、不安を中心とした情緒的な混乱によって登校しない(できない)。	国立	23人 37.1%	91人 38.2%	114人 38.0%
			公立	8,551人 36.9%	28,443人 29.1%	36,994人 30.6%
			私立	27人 40.3%	782人 39.0%	809人 39.1%
			計	8,601人 36.9%	29,316人 29.3%	37,917人 30.7%
E	意図的な拒否	学校に行く意義を認めず、自分の好きな方向を選んで登校しない。	国立	4人 6.5%	9人 3.8%	13人 4.3%
			公立	894人 3.9%	4,909人 5.0%	5,803人 4.8%
			私立	4人 6.0%	84人 4.2%	88人 4.2%
			計	902人 3.9%	5,002人 5.0%	5,904人 4.8%
F	複合	不登校状態が継続している理由が複合していていずれが主であるかを決めがたい。	国立	16人 25.8%	61人 25.6%	77人 25.7%
			公立	5,420人 23.4%	20,348人 20.8%	25,768人 21.3%
			私立	20人 29.9%	530人 26.4%	550人 26.6%
			計	5,456人 23.4%	20,939人 20.9%	26,395人 21.4%
G	その他	上記のいずれにも該当しない。	国立	6人 9.7%	17人 7.1%	23人 7.7%
			公立	2,500人 10.8%	4,750人 4.9%	7,250人 6.0%
			私立	9人 13.4%	145人 7.2%	154人 7.4%
			計	2,515人 10.8%	4,912人 4.9%	7,427人 6.0%
計			国立	62人 100.0%	238人 100.0%	300人 100.0%
			公立	23,189人 100.0%	97,798人 100.0%	120,987人 100.0%
			私立	67人 100.0%	2,004人 100.0%	2,071人 100.0%
			計	23,318人 100.0%	100,040人 100.0%	123,358人 100.0%

(注1)調査対象:国公立小・中学校

(注2)理由の分類は、教育センター等の客観的な判断(診断)を参考にし、現在又は不登校の状態であった期間のうちもっとも現在に近い状態によって学校が行ったものである。

5-2 不登校が継続している理由のうち複合の内訳

小学校

(人)

		学校生活上の 影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的 混乱	意図的な拒否	その他
A	学校生活上の 影響	—	13	286	② 977	132	157
B	あそび・非行	—	—	88	62	17	31
C	無気力	—	—	—	① 1,645	289	559
D	不安など情緒的 混乱	—	—	—	—	391	③ 656
E	意図的な拒否	—	—	—	—	—	117
F	その他	—	—	—	—	—	—

中学校

(人)

		学校生活上の 影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的 混乱	意図的な拒否	その他
A	学校生活上の 影響	—	401	③ 1,911	② 4,374	716	587
B	あそび・非行	—	—	1,637	402	378	173
C	無気力	—	—	—	① 4,784	1,249	895
D	不安など情緒的 混乱	—	—	—	—	1,193	1,367
E	意図的な拒否	—	—	—	—	—	281
F	その他	—	—	—	—	—	—

計

(人)

		学校生活上の 影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的 混乱	意図的な拒否	その他
A	学校生活上の 影響	—	414	③ 2,197	② 5,351	848	744
B	あそび・非行	—	—	1,725	464	395	204
C	無気力	—	—	—	① 6,429	1,538	1,454
D	不安など情緒的 混乱	—	—	—	—	1,584	2,023
E	意図的な拒否	—	—	—	—	—	398
F	その他	—	—	—	—	—	—

(注1)調査対象:公立小・中学校

(注2)「複合」の内訳として示している理由は、不登校が継続している理由のうち主なもの2つを回答したものである。

(注3)○の中の数字は、人数の多い順である。

6 不登校児童生徒への指導結果の状況

区分		小学校		中学校		計	
		人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
指導の結果、登校する又はできるようにになった児童生徒	国立	26	41.9	68	28.6	94	31.3
	公立	6,741	29.1	25,171	25.7	31,912	26.4
	私立	16	23.9	481	24.0	497	24.0
	計	6,783	29.1	25,720	25.7	32,503	26.3
指導中の児童生徒	国立	36	58.1	170	71.4	206	68.7
	公立	16,448	70.9	72,627	74.3	89,075	73.6
	私立	51	76.1	1,523	76.0	1,574	76.0
	計	16,535	70.9	74,320	74.3	90,855	73.7
うち登校には至らないものの好ましい変化がみられるようになった児童生徒	国立	14	22.6	65	27.3	79	26.3
	公立	4,895	21.1	22,369	22.9	27,264	22.5
	私立	19	28.4	341	17.0	360	17.4
	計	4,928	21.1	22,775	22.8	27,703	22.5

(注)調査対象:国公立小・中学校

7 「指導の結果登校するようになった児童生徒」に特に効果があった学校の措置

【国立】

区分	小学校				中学校				計					
	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)		
学校内での指導の改善工夫	1	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った	8	8.6	61	65.6	14	7.4	106	56.1	22	7.8	167	59.2
	2	全ての教師が該当児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	4	4.3			10	5.3			14	5.0		
	3	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	3	3.2			7	3.7			10	3.5		
	4	養護教諭が専門的に指導にあたった	9	9.7			10	5.3			19	6.7		
	5	スクールカウンセラー、心の教室相談員等が専門的に指導にあたった	8	8.6			14	7.4			22	7.8		
	6	友人関係を改善するための指導を行った	6	6.5			14	7.4			20	7.1		
	7	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した	6	6.5			10	5.3			16	5.7		
	8	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った	4	4.3			2	1.1			6	2.1		
	9	様々な活動の場面において本人が意欲を持って活動できる場を用意した	7	7.5			9	4.8			16	5.7		
	10	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった	6	6.5			16	8.5			22	7.8		
家庭への働きかけ	11	登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした	1	1.1	24	25.8	16	8.5	60	31.7	17	6.0	84	29.8
	12	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談に乗るなど様々な指導・援助を行った	10	10.8			24	12.7			34	12.1		
	13	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った	13	14.0			20	10.6			33	11.7		
他の機関との連携	14	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった	6	6.5	7	7.5	13	6.9	21	11.1	19	6.7	28	9.9
	15	病院等の医療機関と連携して指導にあたった	1	1.1			8	4.2			9	3.2		
16	その他	1	1.1	1	1.1	2	1.1	2	1.1	3	1.1	3	1.1	
総数		93	100.0	93	100.0	189	100.0	189	100.0	282	100.0	282	100.0	

(注1)調査対象: 国公私立小・中学校

(注2)複数回答

【公立】

区分	小学校				中学校				計					
	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)		
学校内での指導の改善工夫	1	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った	2,601	8.9	17,340	59.2	3,730	7.1	31,645	59.9	6,331	7.7	48,985	59.6
	2	全ての教師が該当児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	1,864	6.4			2,911	5.5			4,775	5.8		
	3	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	711	2.4			2,025	3.8			2,736	3.3		
	4	養護教諭が専門的に指導にあたった	1,285	4.4			2,662	5.0			3,947	4.8		
	5	スクールカウンセラー、心の教室相談員等が専門的に指導にあたった	1,536	5.2			5,187	9.8			6,723	8.2		
	6	友人関係を改善するための指導を行った	1,948	6.6			3,269	6.2			5,217	6.4		
	7	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した	2,258	7.7			3,401	6.4			5,659	6.9		
	8	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った	1,101	3.8			1,380	2.6			2,481	3.0		
	9	様々な活動の場面において本人が意欲を持って活動できる場を用意した	2,016	6.9			2,491	4.7			4,507	5.5		
	10	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった	2,020	6.9			4,589	8.7			6,609	8.0		
家庭への働きかけ	11	登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした	3,448	11.8	9,510	32.5	5,630	10.7	16,595	31.4	9,078	11.1	26,105	31.8
	12	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談に乗るなど様々な指導・援助を行った	3,385	11.6			6,624	12.5			10,009	12.2		
	13	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った	2,677	9.1			4,341	8.2			7,018	8.5		
他の機関との連携	14	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった	1,567	5.3	2,159	7.4	2,753	5.2	4,003	7.6	4,320	5.3	6,162	7.5
	15	病院等の医療機関と連携して指導にあたった	592	2.0			1,250	2.4			1,842	2.2		
16	その他	290	1.0	290	1.0	587	1.1	587	1.1	877	1.1	877	1.1	
総数		29,299	100.0	29,299	100.0	52,830	100.0	52,830	100.0	82,129	100.0	82,129	100.0	

(注1)調査対象: 国公立小・中学校

(注2)複数回答

【私立】

区分	小学校				中学校				計					
	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)		
学校内での指導の改善工夫	1	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った	2	2.8	39	54.9	860	61.1	59	4.2	61	4.1	899	60.8
	2	全ての教師が該当児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	5	7.0					75	5.3	80	5.4		
	3	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	1	1.4					51	3.6	52	3.5		
	4	養護教諭が専門的に指導にあたった	2	2.8					73	5.2	75	5.1		
	5	スクールカウンセラー、心の教室相談員等が専門的に指導にあたった	5	7.0					188	13.4	193	13.1		
	6	友人関係を改善するための指導を行った	5	7.0					86	6.1	91	6.2		
	7	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した	8	11.3					106	7.5	114	7.7		
	8	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った	2	2.8					29	2.1	31	2.1		
	9	様々な活動の場面において本人が意欲を持って活動できる場を用意した	5	7.0					49	3.5	54	3.7		
	10	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった	4	5.6					144	10.2	148	10.0		
家庭への働きかけ	11	登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした	9	12.7	25	35.2	426	30.3	129	9.2	138	9.3	451	30.5
	12	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談に乗るなど様々な指導・援助を行った	7	9.9					141	10.0	148	10.0		
	13	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った	9	12.7					156	11.1	165	11.2		
他の機関との連携	14	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった	3	4.2	5	7.0	100	7.1	45	3.2	48	3.2	105	7.1
	15	病院等の医療機関と連携して指導にあたった	2	2.8					55	3.9	57	3.9		
16	その他	2	2.8	2	2.8	21	1.5	21	1.5	23	1.6	23	1.6	
総数		71	100.0	71	100.0	1,407	100.0	1,407	100.0	1,478	100.0	1,478	100.0	

(注1)調査対象: 国公立小・中学校

(注2)複数回答

【計】

区分	小学校				中学校				計					
	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)	校数 (校)	割合 (%)	計	割合 (%)		
学校内での指導の改善工夫	1	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った	2,611	8.9	17,440	59.2	32,611	59.9	3,803	7.0	6,414	7.6	50,051	59.7
	2	全ての教師が該当児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	1,873	6.4					2,996	5.5	4,869	5.8		
	3	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	715	2.4					2,083	3.8	2,798	3.3		
	4	養護教諭が専門的に指導にあたった	1,296	4.4					2,745	5.0	4,041	4.8		
	5	スクールカウンセラー、心の教室相談員等が専門的に指導にあたった	1,549	5.3					5,389	9.9	6,938	8.3		
	6	友人関係を改善するための指導を行った	1,959	6.6					3,369	6.2	5,328	6.4		
	7	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した	2,272	7.7					3,517	6.5	5,789	6.9		
	8	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った	1,107	3.8					1,411	2.6	2,518	3.0		
	9	様々な活動の場面において本人が意欲を持って活動できる場を用意した	2,028	6.9					2,549	4.7	4,577	5.5		
	10	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった	2,030	6.9					4,749	8.7	6,779	8.1		
家庭への働きかけ	11	登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした	3,458	11.7	9,559	32.4	17,081	31.4	5,775	10.6	9,233	11.0	26,640	31.8
	12	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談に乗るなど様々な指導・援助を行った	3,402	11.5					6,789	12.5	10,191	12.1		
	13	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った	2,699	9.2					4,517	8.3	7,216	8.6		
他の機関との連携	14	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった	1,576	5.3	2,171	7.4	4,124	7.6	2,811	5.2	4,387	5.2	6,295	7.5
	15	病院等の医療機関と連携して指導にあたった	595	2.0					1,313	2.4	1,908	2.3		
16	その他	293	1.0	293	1.0	610	1.1	610	1.1	903	1.1	903	1.1	
総数		29,463	100.0	29,463	100.0	54,426	100.0	54,426	100.0	83,889	100.0	83,889	100.0	

(注1)調査対象: 国公立小・中学校

(注2)複数回答

8 相談、指導、治療を受けた機関等及び指導要録上「出席扱い」した児童生徒数（人）

区分	小学校		中学校		計				
	指導・治療を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導・治療を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導・治療を受けた人数(A)	不登校児童生徒数におけるAの割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	
①教育支援センター（適応指導教室）	国立	8	5	22	15	30	10.0%	20	66.7%
	公立	2,895	1,853	12,339	10,013	15,234	12.6%	11,866	77.9%
	私立	4	3	74	37	78	3.8%	40	51.3%
	計	2,907	1,861	12,435	10,065	15,342	12.4%	11,926	77.7%
②教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関（①を除く）	国立	8	3	19	11	27	9.0%	14	51.9%
	公立	3,767	749	5,454	2,118	9,221	7.6%	2,867	31.1%
	私立	7	4	47	13	54	2.6%	17	31.5%
	計	3,782	756	5,520	2,142	9,302	7.5%	2,898	31.2%
③児童相談所・福祉事務所	国立	5	4	5	1	10	3.3%	5	50.0%
	公立	2,447	311	5,320	1,213	7,767	6.4%	1,524	19.6%
	私立	3	0	58	9	61	2.9%	9	14.8%
	計	2,455	315	5,383	1,223	7,838	6.4%	1,538	19.6%
④保健所、精神保健福祉センター	国立	0	0	1	1	1	0.3%	1	100.0%
	公立	411	27	617	44	1,028	0.8%	71	6.9%
	私立	0	0	17	0	17	0.8%	0	0.0%
	計	411	27	635	45	1,046	0.8%	72	6.9%
⑤病院、診療所	国立	9	2	37	7	46	15.3%	9	19.6%
	公立	2,709	213	6,832	536	9,541	7.9%	749	7.9%
	私立	17	3	543	55	560	27.0%	58	10.4%
	計	2,735	218	7,412	598	10,147	8.2%	816	8.0%
⑥民間団体、民間施設	国立	1	0	7	4	8	2.7%	4	50.0%
	公立	756	155	1,689	596	2,445	2.0%	751	30.7%
	私立	5	1	131	15	136	6.6%	16	11.8%
	計	762	156	1,827	615	2,589	2.1%	771	29.8%
⑦上記以外の施設	国立	11	4	24	6	35	11.7%	10	28.6%
	公立	648	79	1,846	297	2,494	2.1%	376	15.1%
	私立	5	0	49	15	54	2.6%	15	27.8%
	計	664	83	1,919	318	2,583	2.1%	401	15.5%
⑧上記①～⑦の機関等での相談・指導を受けた人数	国立	34	14	112	44	146	48.7%	58	39.7%
	公立	11,511	2,988	31,575	13,784	43,086	35.6%	16,772	38.9%
	私立	30	7	825	124	855	41.3%	131	15.3%
	計	11,575	3,009	32,512	13,952	44,087	35.7%	16,961	38.5%
⑨養護教諭による専門的な指導を受けた人数	国立	25	-	88	-	113	37.7%	-	-
	公立	5,747	-	20,619	-	26,366	21.8%	-	-
	私立	17	-	485	-	502	24.2%	-	-
	計	5,789	-	21,192	-	26,981	21.9%	-	-
⑩スクールカウンセラー、心の教室相談員等による専門的な相談を受けた人数	国立	19	-	90	-	109	36.3%	-	-
	公立	6,313	-	36,775	-	43,088	35.6%	-	-
	私立	16	-	922	-	938	45.3%	-	-
	計	6,348	-	37,787	-	44,135	35.8%	-	-
⑪上記⑨、⑩による相談・指導を受けた人数	国立	33	-	143	-	176	58.7%	-	-
	公立	10,805	-	48,896	-	59,701	49.3%	-	-
	私立	30	-	1,190	-	1,220	58.9%	-	-
	計	10,868	-	50,229	-	61,097	49.5%	-	-
⑫上記①～⑦、⑨、⑩による相談・指導を受けた人数	国立	45	-	196	-	241	80.3%	-	-
	公立	15,772	-	61,788	-	77,560	64.1%	-	-
	私立	43	-	1,536	-	1,579	76.2%	-	-
	計	15,860	-	63,520	-	79,380	64.3%	-	-

(注1) 調査対象:国公立小・中学校

(注2)①～⑦、⑨、⑩については複数回答であり、⑧、⑪、⑫は実数。

9 不登校の状態が前年度から継続している児童生徒数

小学校

【国立】

区分	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
平成16年度不登校児童数(人)	7	9	5	16	25	62
うち15年度から継続(人)	1	3	1	6	8	19
比率(%)	14.3	33.3	20.0	37.5	32.0	30.6

【公立】

区分	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
平成16年度不登校児童数(人)	1,811	2,721	4,090	5,791	7,601	22,014
うち15年度から継続(人)	660	1,042	1,812	2,612	3,798	9,924
比率(%)	36.4	38.3	44.3	45.1	50.0	45.1

【私立】

区分	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
平成16年度不登校児童数(人)	4	8	13	14	26	65
うち15年度から継続(人)	2	3	3	5	7	20
比率(%)	50.0	37.5	23.1	35.7	26.9	30.8

【計】

区分	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
平成16年度不登校児童数(人)	1,822	2,738	4,108	5,821	7,652	22,141
うち15年度から継続(人)	663	1,048	1,816	2,623	3,813	9,963
比率(%)	36.4	38.3	44.2	45.1	49.8	45.0

中学校

【国立】

区分	1年生	2年生	3年生	計
平成16年度不登校生徒数(人)	44	96	98	238
うち15年度から継続(人)	6	34	51	91
比率(%)	13.6	35.4	52.0	38.2

【公立】

区分	1年生	2年生	3年生	計
平成16年度不登校生徒数(人)	22,447	35,151	40,200	97,798
うち15年度から継続(人)	7,251	18,724	26,622	52,597
比率(%)	32.3	53.3	66.2	53.8

【私立】

区分	1年生	2年生	3年生	計
平成16年度不登校生徒数(人)	483	678	843	2,004
うち15年度から継続(人)	84	278	406	768
比率(%)	17.4	41.0	48.2	38.3

【計】

区分	1年生	2年生	3年生	計
平成16年度不登校生徒数(人)	22,974	35,925	41,141	100,040
うち15年度から継続(人)	7,341	19,036	27,079	53,456
比率(%)	32.0	53.0	65.8	53.4

(注)調査対象:国公立小・中学校

10 転学した不登校児童生徒数(人)

	国立	公立	私立	計
小学校	1	-	6	7
中学校	3	-	175	178
計	4	-	181	185

(注)調査対象:国私立小・中学校

11 教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数						
		常勤		非常勤		計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
都道府県が設置	15年度	35	73	42.9	97	57.1	170	100.0
	16年度	33	45	36.0	80	64.0	125	100.0
市町村が設置	15年度	1,061	814	24.8	2,473	75.2	3,287	100.0
	16年度	1,119	935	26.2	2,638	73.8	3,573	100.0
計	15年度	1,096	887	25.7	2,570	74.3	3,457	100.0
	16年度	1,152	980	26.5	2,718	73.5	3,698	100.0

12 都道府県別不登校児童生徒数（国・公・私立）

（平成16年度確定値）

都道府県	小学校				中学校				計				1,000人当たりの不登校児童生徒数
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
1 北海道	713	2	710	1	3,241	3	3238	0	3,954	5	3,948	1	8.5
2 青森県	203	3	200	0	1,131	2	1129	0	1,334	5	1,329	0	10.1
3 岩手県	164	0	164	0	984	5	978	1	1,148	5	1,142	1	9.2
4 宮城県	397	0	396	1	2,015	3	1961	51	2,412	3	2,357	52	11.7
5 秋田県	154	1	153	0	665	7	652	6	819	8	805	6	8.5
6 山形県	170	0	170	0	815	5	808	2	985	5	978	2	9.1
7 福島県	291	1	288	2	1,531	4	1523	4	1,822	5	1,811	6	9.2
8 茨城県	486	0	486	0	2,423	1	2403	19	2,909	1	2,889	19	10.8
9 栃木県	452	4	448	0	1,992	1	1982	9	2,444	5	2,430	9	13.7
10 群馬県	321	0	321	0	1,608	0	1603	5	1,929	0	1,924	5	10.7
11 埼玉県	1,372	1	1370	1	5,894	0	5816	78	7,266	1	7,186	79	12.1
12 千葉県	767	1	764	2	4,082	5	3992	85	4,849	6	4,756	87	9.7
13 東京都	1,832	3	1803	26	7,489	11	6893	585	9,321	14	8,696	611	10.7
14 神奈川県	1,904	2	1895	7	7,290	11	7074	205	9,194	13	8,969	212	13.3
15 新潟県	484	3	481	0	1,823	4	1813	6	2,307	7	2,294	6	10.8
16 富山県	178	3	175	0	736	3	733	0	914	6	908	0	10.0
17 石川県	203	0	203	0	868	15	848	5	1,071	15	1,051	5	10.4
18 福井県	155	0	154	1	636	0	635	1	791	0	789	2	10.4
19 山梨県	213	3	210	0	752	4	734	14	965	7	944	14	11.8
20 長野県	576	2	574	0	1,947	24	1923	0	2,523	26	2,497	0	12.8
21 岐阜県	457	0	457	0	1,725	3	1717	5	2,182	3	2,174	5	11.5
22 静岡県	663	1	661	1	2,790	5	2719	66	3,453	6	3,380	67	10.5
23 愛知県	1,503	5	1498	0	5,942	12	5867	63	7,445	17	7,365	63	11.8
24 三重県	369	2	366	1	1,545	2	1527	16	1,914	4	1,893	17	11.5
25 滋賀県	492	0	492	0	1,342	1	1325	16	1,834	1	1,817	16	14.3
26 京都府	576	2	571	3	2,042	8	1979	55	2,618	10	2,550	58	12.4
27 大阪府	1,937	3	1927	7	8,724	2	8469	253	10,661	5	10,396	260	14.6
28 兵庫県	828	7	819	2	4,585	26	4452	107	5,413	33	5,271	109	11.1
29 奈良県	378	1	373	4	1,260	0	1224	36	1,638	1	1,597	40	13.0
30 和歌山県	300	3	297	0	1,008	8	968	32	1,308	11	1,265	32	13.9
31 鳥取県	122	1	121	0	542	7	535	0	664	8	656	0	12.1
32 島根県	263	1	262	0	769	4	756	9	1,032	5	1,018	9	15.8
33 岡山県	521	2	518	1	1,795	6	1747	42	2,316	8	2,265	43	13.5
34 広島県	718	0	717	1	2,642	4	2574	64	3,360	4	3,291	65	13.4
35 山口県	294	0	294	0	1,173	4	1165	4	1,467	4	1,459	4	11.8
36 徳島県	148	0	146	2	648	3	642	3	796	3	788	5	11.6
37 香川県	144	0	144	0	822	1	805	16	966	1	949	16	11.2
38 愛媛県	163	2	161	0	828	3	825	0	991	5	986	0	7.7
39 高知県	196	1	195	0	705	3	661	41	901	4	856	41	13.7
40 福岡県	735	0	733	2	3,944	1	3893	50	4,679	1	4,626	52	10.7
41 佐賀県	135	0	135	0	711	3	707	1	846	3	842	1	10.0
42 長崎県	189	0	187	2	961	2	947	12	1,150	2	1,134	14	8.1
43 熊本県	249	1	248	0	1,523	3	1505	15	1,772	4	1,753	15	10.4
44 大分県	223	0	223	0	898	2	896	0	1,121	2	1,119	0	10.6
45 宮崎県	94	1	93	0	770	3	767	0	864	4	860	0	7.9
46 鹿児島県	282	0	282	0	1,285	14	1257	14	1,567	14	1,539	14	9.5
47 沖縄県	304	0	304	0	1,139	0	1131	8	1,443	0	1,435	8	9.2
合計	23,318	62	23,189	67	100,040	238	97,798	2,004	123,358	300	120,987	2,071	11.4
平成15年度	24,077	52	23,967	58	102,149	198	100,088	1,863	126,226	250	124,055	1,921	11.5